

事業所名 放課後等デイサービス ぞうさん 室住教室 支援プログラム 作成日 令和6 年 4月 1日

法人（事業所）理念	私たちちは、すべての子どもたちが持つ可能性を引き出し、個々の成長と発達を支援します。安心して過ごせる環境を提供し、子どもたちが自信をもって社会と関わる力を育むことをめざします。地域と連携し、家族とも共に歩むサービスを提供し、すべての子どもが笑顔で未来を描ける社会を実現します。						
支援方針	子ども一人ひとりの個性や発達段階、ニーズに応じた目標設定をもとに、運動、工作、クッキング、ソーシャルスキルトレーニング（SST）、感覚統合運動を通じて、自己表現やコミュニケーション能力の向上を図ります。運動を通じては身体機能向上と健康促進を目指し、クッキングでは協動作業を通じた社会性の育成を重視します。工作では想像力や集中力を養い、SSTにおいては対人関係のスキルを学びます。また、感覚統合運動では感覚処理能力の向上を図り、安心して活動できる環境を提供します。これらの活動を通じて、子どもたちが自信を持ち、自立した生活を送る為の支援を行います。						
営業時間	10 時 0 分から 19 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし			
	支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日の検温、手洗い、健康観察にて、ひとりひとりの心身の健康状態の把握、手洗い等の習慣化を目指す。</li> <li>食事や衣類の着脱、排泄、身の回りの整理整頓等、生活スキルの向上を支援。</li> <li>クッキングの活動を通して食育を実施。</li> <li>おやつの提供時や外食体験、買い物体験にて、自己選択や購入を経験できる機会を提供。</li> <li>季節毎のイベントや外出にて季節の変化への興味や感性形成を支援。</li> <li>避難訓練を実施し、災害や緊急時の対応を確認し実践。</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動（縄跳び、トランポリン、ボール運動）や公園遊び、公共施設の活用、工作、クッキング等の活動を通して、身体機能の維持・強化を図る。</li> <li>ケアピクス等の活動を通して、リズムに合わせた運動や感覚刺激を取り入れられるよう支援。</li> <li>粘土やスライム等の感覚遊びや、運動等の活動を通して、様々な感覚に触れることで、発達を促す。</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>日付や曜日、天気を視覚で把握できるよう掲示したり、はじまりの会や帰りの会時に確認を行い、概念の習得を図る。</li> <li>スケジュールを視覚で把握できるよう掲示し、時間の認知形成や見通し立て、自発的な行動を支援。</li> <li>タイマーを用いて切り替えを視覚、聴覚にて促す。</li> <li>ビジョントレーニングの実施。</li> <li>発達段階や障がいの特性に応じて、自立課題の提供を行い、認知機能の向上を目指す。</li> </ul>					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>始まりの会や帰りの会を実施し、挨拶や発表する機会を作り、聞く力、自分の気持ちを伝える力を支援。</li> <li>言葉だけでなく、絵カードやジェスチャー等、個々の特性に応じたコミュニケーションツールを用いて、コミュニケーション能力の向上を目指す。</li> <li>学習や自立課題の時間を設け、読み書きや音韻認識等を支援。</li> </ul>					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソーシャルスキルトレーニングを実施し、自己認知や他者との関わりを支援。</li> <li>商業施設や公共施設への外出活動を行い、集団行動や公共の場でのルールやマナーを学ぶ機会を提供。</li> <li>活動や余暇活動を通して自己理解や他者理解、人間関係の構築を目指す。</li> </ul>					
	家族支援	家族が抱える不安やストレスに寄り添い、心理的な援助を行います。家族と連携し、家庭での支援と放課後等デイサービスの支援が一貫するよう努める。家族が抱えている課題やニーズを理解し、個別で対応することで、安心してサービスを利用できるよう支援する。	移行支援	<p>必用に応じて保育園や幼稚園、児童発達支援と連携し、就学前に必要な情報を共有する。 学校を卒業し、将来地域社会で自立した生活を送れるよう日常生活に必要なスキルの獲得を目指す。</p>			
地域支援・地域連携		必用に応じて連携会議を開催し、情報収集や共有、役割分担について協議する。各関係機関からの情報に基づき、日常生活や支援に活用する。地域の社会資源を有効に活用しながら、交流の場を広げることができるよう支援する。保護者会や公園遊び、お買い物体験などを提供し、地域との関わる機会をつくる。	職員の質の向上	<p>研修や勉強会を通じて、知識やスキルを習得し専門性を高める。職員間の連携を密にし、情報共有を円滑にすることで、より効果的な支援を提供する。異なる職種や経験を持つ職員がチームにいることで、多様な視点から利用者を捉え、より良い支援を提供する。</p>			
主な行事等		運動、工作、クッキング、ソーシャルスキルトレーニング、ビジョントレーニング、感覚統合遊び、外出支援、収穫体験、お買い物体験等					